

- 問1 成田国際空港を擁する千葉県、訪日外国人観光に関する統計上の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 延べ訪問者数と一人当たりの旅行消費単価のどちらも全国最下位に近い水準であり、空港の活用が課題となっている。 | 2. 成田国際空港からのアクセスが良いため、延べ宿泊者数が延べ訪問者数を上回るといった逆転現象が起きている。 | 3. 一人当たりの旅行消費単価が全国5位以内と非常に高い一方で、延べ訪問者数は全国平均を下回っている。 | 4. 延べ訪問者数は全国トップクラスであるが、一人当たりの旅行消費単価は全国でも極めて低い水準にある。 |
|--|--|---|---|
- 問2 日本の都道府県別の農業統計において、茨城県は耕地面積一ヘクタールあたりの農業産出額が非常に高い傾向にあります。このような、単位面積あたりの生産性を高める集約的な農業が行われている背景として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 県全体の耕地面積が日本で最大であり、広大な土地を利用した米の単一栽培が行われているため。 | 2. 一戸あたりの経営面積が全国で最も広く、大規模な機械化によって生産コストを抑えているため。 | 3. 首都圏という巨大な消費地に近く、野菜などの収益性の高い作物を育てる近郊農業が盛んであるため。 | 4. 山地が多く耕地が限られているため、急斜面に段々畑を設けて果樹栽培に特化しているため。 |
|---|---|---|---|
- 問3 多くの外国籍住民が暮らす地域では、言語や文化の違いを認め合い、地域社会の対等な構成員として共に生きていく「多文化共生」の考え方が重視されています。群馬県大泉町におけるこの取り組みの具体例として正しいものはどれですか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 外国籍住民専用の居住エリアを設け、日本の伝統的な習慣を強制しない仕組みを作っている | 2. 外国籍住民を観光親善大使に任命し、海外向けのSNS発信を強化して観光客を呼び込んでいる | 3. 町内にブラジル人が多く居住している実態に合わせ、公共施設の案内をポルトガル語で表記している | 4. 輸出を促進するため、町内の全工場における公用語を日本語から英語に変更している |
|--|--|--|---|
- 問4 関東地方の太平洋側に突き出た半島状の地形を持ち、野菜の産出額が約863億円、果実の産出額が約854億円にのぼるなど、農業が非常に盛んな県はどこですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 千葉県 | 2. 神奈川県 | 3. 茨城県 | 4. 埼玉県 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問5 日本の、ある地域における農業産出額の品目別割合について、野菜の割合が約41%と極めて高く、米(約17%)や畜産(約28%)を大きく上回っている地域があります。この地域の農業の名称と、その特徴として正しいものの組み合わせを選びなさい。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 関東地方の近郊農業：大消費地に近い利点を活かし、新鮮さが求められる野菜などを生産する。 | 2. 東北地方の銘柄米生産：広い平野と冷涼な気候を活かし、単作地帯として米の生産に特化する。 | 3. 北海道の土地利用型農業：広大な土地を活用し、機械化を進めて大規模な経営を行う。 | 4. 九州地方の促成栽培：温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜を通常より早く出荷する。 |
|--|--|--|--|
- 問6 東京都の工業出荷額の内訳をまとめた資料では、輸送用機械に次いで、印刷業が13.1%、情報通信機械が10.4%、電気機械が7.5%を占めるという特徴があります。このように、巨大な消費地や情報の中心地であるという立地条件を活かした工業の形態を何と呼びますか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-----------|----------|
| 1. 地場産業 | 2. 都市型工業 | 3. 先端技術産業 | 4. 重化学工業 |
|---------|----------|-----------|----------|
- 問7 2021年の農業統計において、千葉県は農業産出額が3,853億円にのぼり、全国でも有数の農業県となっています。この県で、農業産出額のうち野菜と畜産の合計が全体の約3分の2を占めている理由として、地理的な背景をふまえて説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 傾斜の多い地形を活かして、水はけの良さを必要とする果樹栽培が古くから地域の主産業となっているため。 | 2. 巨大な消費地である首都圏に近く、輸送コストを抑えながら鮮度が求められる野菜や畜産物を出荷できるため。 | 3. 広大な十勝平野のような平坦地を活かして、機械化による大規模な畑作や酪農が展開されているため。 | 4. 黒潮の影響による温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどを用いて野菜の収穫時期を早めているため。 |
|--|---|---|--|
- 問8 栃木県は、生乳の生産量が北海道に次いで多い県ですが、生産された生乳の用途は北海道と大きく異なります。北海道ではチーズやバターなどの加工用に回される割合が高いのに対し、栃木県ではそのほとんどが「飲用」として出荷されます。このように栃木県で飲用としての出荷割合が極めて高い理由として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 冷涼な気候を利用した大規模な放牧が行われており、生産コストが非常に低いため | 2. 東京都などの巨大な消費地に近く、鮮度が求められる製品を供給するのに有利なため | 3. 県内に日本最大級の乳製品加工工場が存在し、そこから全国へ配送されるため | 4. 内陸県であり、塩害の影響を受けないため乳質の管理が容易で飲料に適しているため |
|--|---|--|---|
- 問9 茨城県の工業について、地域の特性と主な産業の組み合わせを説明した文として最も適切なものはどれですか。なお、茨城県内には鹿島臨海工業地帯が含まれるものとします。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 内陸部の盆地では水はけの良さを活かした果樹栽培が産業の中心となっており、製造業の立地はほとんど見られない。 | 2. 沿岸部の鹿島臨海工業地帯には鉄鋼業や石油化学コンビナートが形成され、南部では輸送用機械の関連企業が立地している。 | 3. 沿岸部の広大な砂丘を利用した農業が県内最大の産業であり、工業団地には農機具を生産する小規模な工場のみが並んでいる。 | 4. 都市部では地場産業である伝統的な繊維工業が発展し、南部の工業団地には造船業の大型ドックが集中的に建設されている。 |
|--|---|--|---|
- 問10 東京都の昼夜間人口比率が111%以上と日本で最も高い水準にある一方で、埼玉県や千葉県ではその数値が100%を大きく割り込んでいる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|---|
| 1. 東京都は他の道府県に比べて人口密度が低く、常住人口が極端に少ないため | 2. 埼玉県や千葉県はベッドタウンとしての性格が強く、昼間に東京都へ通勤・通学する流入人口が多いため | 3. 埼玉県や千葉県には工場が集中しており、夜間に労働者が集まる構造になっているため | 4. 東京都の出生率が埼玉県や千葉県に比べて圧倒的に高く、年少人口が急速に増加しているため |
|---------------------------------------|--|--|---|
- 問11 茨城県のつくば市(筑波研究学園都市)では、夜間の居住人口(夜間人口)が約22.7万人であるのに対し、仕事や通学のために周辺地域から流入する人々を含めた人口(昼間人口)は約24.4万人に達します。このように昼間人口が夜間人口を上回る要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 国の研究機関や大学が数多く移転・集積し、市外から通勤・通学する人が多いため | 2. 大規模な工業団地が整備され、製造業に従事する外国人労働者の移住が進んだため | 3. 都心部へのアクセスが良いため、夜間に都心から帰宅する会社員のベッドタウンとなっているため | 4. 歴史的な街並みを保存した観光地が多く、全国から日帰りの観光客が昼間に集中するため |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 延べ訪問者数は全国トップクラスであるが、一人当たりの旅行消費単価は全国でも極めて低い水準にある。	千葉県は日本の玄関口である成田国際空港を有しているため、訪日外国人の延べ訪問者数では東京都や大阪府に次ぐ全国3位という極めて高い水準にあります。しかし、空港から都心部などへそのまま移動してしまう観光客が多く、県内での滞在時間や消費機会が少ないため、一人当たりの旅行消費単価は全国46位（約1.8万円）と低迷しています。
問2	答え 3 首都圏という巨大な消費地に近く、野菜などの収益性の高い作物を育てる近郊農業が盛んであるため。	茨城県は東京などの大消費地に隣接しており、輸送コストを抑えつつ新鮮な農産物を供給できる「近郊農業」の利点を最大限に活かしています。そのため、広大な土地で比較的単価の低い米を育てるよりも、単位面積あたりの収益が高い野菜などを手間をかけて育てる集約的な農業が発達しました。その結果、耕地一ヘクタールあたりの農業産出額（土地生産性）が、東北などの米作中心の県に比べて高くなっています。なお、一戸あたりの経営面積が最大なのは北海道です。
問3	答え 3 町内にブラジル人が多く居住している実態に合わせ、公共施設の案内をポルトガル語で表記している	大泉町は人口に占める外国籍住民の割合が非常に高く、特にブラジル人が多いことが特徴です。そのため、町は多文化共生の施策として、公共施設や広報誌、ウェブサイトなどでポルトガル語を併記するなどの配慮を行っています。これは単なる観光対応ではなく、住民が行政情報を正確に理解し、安心して生活できるようにするための支援です。
問4	答え 1 千葉県	千葉県は房総半島を擁し、三方を海に囲まれた温暖な気候と平坦な土地を活かした農業が盛んです。統計上でも野菜と果実の産出額が共に高く、関東地方において食料供給の重要な役割を担っています。
問5	答え 1 関東地方の近郊農業：大消費地に近い利点を活かし、新鮮さが求められる野菜などを生産する。	東京都などの巨大な消費地を抱える関東地方では、輸送コストを抑えつつ、鮮度が重視される野菜を市場に供給できる「近郊農業」が発達しています。そのため、全国平均と比較しても農業産出額における野菜の構成比が高く、4割を超えるという顕著な特徴を持っています。
問6	答え 2 都市型工業	東京都は人口が極めて多い大消費地であり、出版社や報道機関、企業の本社などが集中しています。そのため、情報の伝達に必要な印刷物や、情報通信機器、電気機械といった、消費者のニーズに素早く対応する必要がある製品の製造が盛んです。このような大都市特有の背景を持った工業を都市型工業といいます。
問7	答え 2 巨大な消費地である首都圏に近く、輸送コストを抑えながら鮮度が求められる野菜や畜産物を出荷できるため。	千葉県は首都圏という巨大な市場に隣接しているため、生産した農産物を短時間で市場へ運ぶことができます。野菜は鮮度が落ちやすく、また畜産物も消費地に近い場所での生産が有利に働くため、この立地条件を最大限に活用した農業が発達しました。他の選択肢にある大規模畑作は北海道、促成栽培は高知県や宮崎県などの特徴です。
問8	答え 2 東京都などの巨大な消費地に近く、鮮度が求められる製品を供給するのに有利なため	生乳は鮮度が極めて重要であり、消費地に近い地域ほど、加工の手間がかからず付加価値の高い「飲用牛乳」として出荷される傾向があります。これを「近郊農業」の特色の一つとして捉えることができます。一方で、消費地から遠い北海道では、保存のきくバターやチーズなどの加工用としての利用割合が高くなります。
問9	答え 2 沿岸部の鹿島臨海工業地帯には鉄鋼業や石油化学コンビナートが形成され、南部では輸送用機械の関連企業が立地している。	茨城県の工業は地域ごとに明確な特色があります。沿岸部の鹿島地区は、掘り込み式の港湾を整備したことで大型船の入港が可能になり、原材料を輸入に頼る鉄鋼業や石油化学コンビナートが発達しました。一方、県南部は自動車産業が集積する地域とのつながりや、高速道路網などの交通利便性を背景に、輸送用機械の部品工場や組立工場が多く進出しています。
問10	答え 2 埼玉県や千葉県はベッドタウンとしての性格が強く、昼間に東京都へ通勤・通学する流入人口が多いため	昼夜間人口比率は、分母を常住人口、分子を昼間人口として算出されます。埼玉県や千葉県のような周辺地域は、夜間に寝る場所である「住宅地（ベッドタウン）」としての役割が強く、昼間は都心のオフィスや学校へ人が移動してしまうため、比率が低くなります。逆に、移動先である東京都は昼間の人口が膨れ上がるため、比率が高くなります。
問11	答え 1 国の研究機関や大学が数多く移転・集積し、市外から通勤・通学する人が多いため	筑波研究学園都市は、東京の過密解消と科学技術の振興を目的に、国の研究機関や大学を計画的に移転して作られた都市です。そのため、高度な専門知識を扱う職場や教育施設が集中しており、周辺の自治体から多くの研究者、職員、学生が通勤・通学してくることで、昼間の活動人口が夜間の居住人口を上回る特徴を持っています。